



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 O S J Bホールディングス株式会社
 コード番号 5912 URL <https://www.osjb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画担当
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大野 達也
 (氏名) 橋本 幸彦
 TEL 03-6220-0601

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	30,100	27.8	2,245	10.4	2,309	11.5	1,653	70.4
2020年3月期第2四半期	23,549	0.3	2,034	28.0	2,071	27.6	5,579	171.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,757百万円 (68.7%) 2020年3月期第2四半期 5,612百万円 (154.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.97	
2020年3月期第2四半期	46.67	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	51,081	34,069	66.7	288.33
2020年3月期	52,173	33,318	63.9	281.44

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 34,069百万円 2020年3月期 33,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		8.00	8.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	3.5	3,400	10.2	3,400	13.2	2,200	67.8	18.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	122,513,391 株	2020年3月期	122,513,391 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,350,942 株	2020年3月期	4,127,104 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	118,366,474 株	2020年3月期2Q	119,541,164 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	12
(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、経済活動が徐々に再開するもとの、持ち直しつつあります。輸出はアジア及びアメリカ向けを中心に持ち直しが続いており、生産も鉱工業生産指数を中心に増加の動きがみられます。一方、企業収益は改善の兆しはあるものの、感染症の影響による大幅な減少が続いており、個人消費の持ち直しによる企業業況感の改善が期待されるなか、全体として景気は厳しい状況が続いております。

公共投資につきましては、国の令和元年度一般会計予算の補正予算において約1.6兆円の予算措置が講じられたことにより、公共事業関連費は、前年度を上回っております。公共工事請負金額も対前年比117.1%と高水準で推移し、令和2年度当初予算の公共事業関係費がほぼ前年度並みの0.8%減となっていることから、関連予算執行の効果発現と併せ、引き続き堅調に推移しております。

このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は、建設事業において前年同四半期を上回る受注獲得により、266億6千5百万円（前年同四半期比0.9%増）となり、例年の水準を確保しております。

当第2四半期連結会計期間の主要な受注は、以下のとおりであります。

(建設事業)

・ニューマチックケーソン工事

国土交通省四国地方整備局「令和2-3年度 南国安芸道路物部川橋下部P2-P3工事」

・プレストレストコンクリートの新設橋梁工事

高知県「下ノ加江川河川改修橋梁上部工工事（河改（局）第12-1-2号）」

・橋梁の補修補強工事

西日本高速道路株式会社「中国自動車道（特定更新等）旭川橋他1橋床版取替工事」

(鋼構造物事業)

・鋼構造の新設橋梁工事

大阪府「寝屋川北部地下河川 守口立坑整備工事（鋼製階段工）」

売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗が順調に推移したことにより、売上高は301億円（前年同四半期比27.8%増）となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注及び売上の状況により、747億5千9百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

損益面では、売上総利益は43億5千万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は22億4千5百万円（前年同四半期比10.4%増）、経常利益は23億9百万円（前年同四半期比11.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億5千3百万円（前年同四半期比70.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益について前年同四半期比が減少したのは、前年同四半期において有形固定資産売却益を計上したことによるものです。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設事業

当セグメントの売上高は266億9千4百万円（前年同四半期比25.8%増）、セグメント利益(営業利益)は25億7千9百万円（前年同四半期比20.4%増）となりました。

② 鋼構造物事業

当セグメントの売上高は33億3千9百万円（前年同四半期比46.1%増）、セグメント損失(営業損失)は2億3千1百万円（前年同四半期はセグメント利益(営業利益)1億円）となりました。

③ その他

太陽光発電による売電事業及び不動産賃貸事業により、売上高は6千6百万円（前年同四半期比63.3%増）、セグメント利益(営業利益)は1百万円（前年同四半期比92.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は510億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9千1百万円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8.0%減少し、383億5千1百万円となりました。これは、現金及び預金が17億3千4百万円、受取手形・完成工事未収入金が11億3千1百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21.2%増加し、127億3千万円となりました。これは、土地が19億5千8百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10.3%減少し、129億9千3百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金が12億2千5百万円、未成工事受入金が4億8千6百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8.0%減少し、40億1千7百万円となりました。これは、長期借入金が1億4千2百万円、繰延税金負債が2億5千3百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2.3%増加し、340億6千9百万円となり、自己資本比率は66.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月21日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,223	12,488
受取手形・完成工事未収入金	24,328	23,196
未成工事支出金	567	689
材料貯蔵品	166	173
立替金	1,198	659
未収還付法人税等	1	—
未収消費税等	918	819
その他	265	325
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	41,667	38,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,167	1,738
機械及び装置（純額）	2,405	2,323
土地	2,977	4,935
建設仮勘定	406	94
その他（純額）	179	216
有形固定資産合計	7,136	9,308
無形固定資産		
その他	731	693
無形固定資産合計	731	693
投資その他の資産		
投資有価証券	2,259	2,317
破産更生債権等	646	646
繰延税金資産	115	149
その他	311	307
貸倒引当金	△695	△693
投資その他の資産合計	2,637	2,727
固定資産合計	10,505	12,730
資産合計	52,173	51,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	8,984	7,758
1年内返済予定の長期借入金	285	285
未払金	350	309
未払法人税等	1,172	895
未成工事受入金	2,459	1,973
預り金	779	588
賞与引当金	—	906
工事損失引当金	44	45
完成工事補償引当金	76	78
その他	334	152
流動負債合計	14,486	12,993
固定負債		
長期借入金	786	643
長期預り保証金	—	22
株式報酬引当金	22	38
退職給付に係る負債	2,738	2,746
繰延税金負債	821	567
固定負債合計	4,367	4,017
負債合計	18,854	17,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	459	459
利益剰余金	32,977	33,677
自己株式	△963	△1,017
株主資本合計	33,472	34,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	315	385
退職給付に係る調整累計額	△470	△435
その他の包括利益累計額合計	△154	△50
純資産合計	33,318	34,069
負債純資産合計	52,173	51,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高		
完成工事高	23,549	30,100
売上原価		
完成工事原価	19,473	25,750
売上総利益		
完成工事総利益	4,075	4,350
販売費及び一般管理費	2,041	2,104
営業利益	2,034	2,245
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	21
特許権使用料	14	12
受取保険金	—	34
スクラップ売却益	16	3
その他	30	32
営業外収益合計	80	104
営業外費用		
支払利息	4	3
前受金保証料	21	21
支払手数料	5	5
その他	12	10
営業外費用合計	43	40
経常利益	2,071	2,309
特別利益		
固定資産売却益	5,904	—
特別利益合計	5,904	—
特別損失		
工場再編損失	57	—
特別損失合計	57	—
税金等調整前四半期純利益	7,917	2,309
法人税、住民税及び事業税	1,089	989
法人税等調整額	1,248	△333
法人税等合計	2,338	655
四半期純利益	5,579	1,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,579	1,653

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	5,579	1,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	69
退職給付に係る調整額	30	34
その他の包括利益合計	32	104
四半期包括利益	5,612	1,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,612	1,757
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	956	8.00	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月24日 定時株主総会	普通株式	953	8.00	2020年3月31日	2020年6月25日	利益剰余金

(注) 2020年6月24日開催の定時株主総会による配当金の総額には、株式報酬制度に係る信託(日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口))が保有する当社株式に対する配当金6百万円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,223	2,285	23,508	40	23,549	—	23,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91	136	228	—	228	△228	—
計	21,314	2,422	23,736	40	23,777	△228	23,549
セグメント利益	2,142	100	2,242	19	2,262	△228	2,034

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△228百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△227百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス株)における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,694	3,339	30,033	66	30,100	—	30,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99	35	135	9	144	△144	—
計	26,794	3,374	30,168	76	30,245	△144	30,100
セグメント利益又は損失(△)	2,579	△231	2,347	1	2,349	△103	2,245

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△103百万円には、セグメント間取引消去49百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△152百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス株)における発生費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業及び不動産賃貸業であります。

(重要な後発事象)

当社は、2020年11月13日開催の取締役会において、2021年4月1日（予定）をもって、当社完全子会社であるオリエンタル白石株式会社を存続会社、当社を消滅会社とする吸収合併契約書を締結することを決議しました。

1. 合併の目的

合併による持株会社体制の解消により、意思決定の迅速化に加え、追加的な運営コストの削減や経営効率の改善が可能となり、同時に取締役会で定める戦略や方向性がより明確になるものと考えております。今後は、オリエンタル白石株式会社が保有する経営資源（人材、資金、施設など）をグループ全体でより機動的に共有・有効活用し、さらなる業績向上につなげていくとともに、同社が親会社になることで、受注、技術開発、投資等の事業展開が市場に伝わりやすくなり、グループの社会的知名度も向上すると期待しております。

合併後のオリエンタル白石株式会社は、監査役設置会社から当社と同じ監査等委員会設置会社への移行を予定しており、これまで以上にグループ企業の監査・監督機能を強化し、業務執行決定権限の取締役への委任等意思決定及び執行の迅速化を図ります。

なお、存続会社をオリエンタル白石株式会社としましたのは、事業会社である同社の各種許認可等を継続させる事など事業活動に関する様々な影響を最小限にするためであります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の方式

オリエンタル白石株式会社を存続会社とする吸収合併方式で、親会社である当社は解散により消滅する予定です。

(2) 合併に係る割当ての内容

オリエンタル白石株式会社は当社の完全子会社であることから、株式の割当てその他の対価の交付は行いません。

当社に係る割当ての内容は次のとおりです。

普通株式

会社名	オリエンタル白石	OSJBホールディングス
合併比率	1	1

(注) 1. 株式の割当て比率

当社の普通株式（保有自己株式は除く。）1株に対して、オリエンタル白石株式会社の普通株式1株を割当て交付いたします。

本合併により交付するオリエンタル白石株式会社の新株式数（予定）は、普通株式118,929,949株となります。

上記の普通株式数は、当社の2020年9月30日現在の発行済普通株式数122,513,391株から同日現在の当社が保有する自己株式数3,583,442株を控除した普通株式数118,929,949株に割当てられる予定の株式数を記載しております。なお、今後、当社の自己株式数の変動により、本合併により交付する新株式数は変動する可能性があります。

2. 割当て交付する株式

割当て交付するオリエンタル白石株式会社の普通株式は、新たに発行する普通株式を割当て交付いたします。

(3) その他の合併契約の内容

2020年11月13日に、合併期日を2021年4月1日とする吸収合併契約を締結いたしました。

3. 合併に係る割当ての内容の根拠

本合併は、完全親子会社間の合併であり、当社の株主構成と合併後のオリエンタル白石株式会社の株主構成に基本的な変化はなく、また、当社の普通株式1株に対してオリエンタル白石株式会社の普通株式1株を割当てることから、各株主の保有する権利内容にも実質的に変更は生じません。

また、合併後のオリエンタル白石株式会社の株式の売買単位についても、合併後の同社の定款において単元株式を100株と定め、東京証券取引所に上場予定の同社の普通株式の売買単位も100株になる予定です。

本合併は、親会社である当社と完全子会社であるオリエンタル白石株式会社が合併するものであり、上記のとおり合併後の株主構成に変化はなく、上場後の売買株式の利便性や株主の保有する権利内容について変更がないことから、グループ全体の株式価値に変化はないものと考えており、公正性・妥当性が確保されていると考えられるため、当社の株主が保有する株式に与える影響について、第三者機関による算定は行っておりません。

4. 被合併会社の概要 (2020年3月31日現在)

(1) 商号	OSJBホールディングス株式会社
(2) 所在地	東京都江東区豊洲5丁目6-52
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大野達也
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ各社への経営指導 ・固定資産の賃貸 ・不動産賃貸
(5) 資本金	1,000百万円
(6) 設立年月日	1919年7月7日
(7) 発行済株式数	122,513,391株
(8) 決算期	3月31日
(9) 純資産	8,856百万円
(10) 総資産	12,146百万円

5. 合併後の状況

(1) 商号	オリエンタル白石株式会社
(2) 所在地	東京都江東区豊洲5丁目6-52
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大野達也
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プレストレストコンクリートの建設工事及び製造販売 ・ニューマチックケーソン・補修補強の建設工事 ・耐震補強建築工事の設計・施工 ・建設工事事用資材の販売 ・太陽光発電による売電事業 ・不動産賃貸事業
(5) 資本金	1,000百万円
(6) 決算期	3月31日
(7) 純資産 (※)	33,318百万円
(8) 総資産 (※)	52,173百万円

※ 現時点では確定しておりませんが、本合併は完全親子会社間の合併となるため、2020年3月期のOSJBホールディングス株式会社連結数値を記載しております。

3. 補足情報

(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況

I 受注高

区 分	前第2四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	23,021	24,716	1,694	7.4	55,429
鋼構造物事業	3,368	1,882	△1,486	△44.1	9,943
その他	40	66	25	63.3	68
合 計	26,431	26,665	233	0.9	65,441

II 売上高

区 分	前第2四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	21,223	26,694	5,471	25.8	47,805
鋼構造物事業	2,285	3,339	1,054	46.1	5,284
その他	40	66	25	63.3	68
合 計	23,549	30,100	6,551	27.8	53,158

III 受注残高

区 分	前第2四半期 (2019年9月30日)	当第2四半期 (2020年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (2020年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	61,808	65,654	3,846	6.2	67,633
鋼構造物事業	6,986	9,104	2,118	30.3	10,561
その他	—	—	—	—	—
合 計	68,794	74,759	5,965	8.7	78,194